

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市泉ひまわりの家
2	指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
4	施設の利用状況	<p>《延利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度 4,577人（前年度比 101.2%）</li> <li>平成28年度 4,520人（前年度比 103%）</li> <li>平成27年度 4,388人（前年度比 97.1%）</li> </ul>
		<p>《事業》</p> <p>主として知的障害者が通所し、日常生活又は社会生活に必要な訓練等を行い、福祉の増進を図る。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に支払った費用 58,527千円（58,580千円）</li> <li>その他市が負担した費用 547千円（604千円）</li> </ul> <p>（ ）は前年度決算額</p> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料収入 64,402千円（63,310千円）</li> <li>その他収入 0千円（0千円）</li> </ul>
		<p>《実施状況》</p> <p>平成30年1月、指定管理者の協力のもと障害者支援課でアンケートを実施し、17人/22人中（77.3%）から回答を得た。施設の利用に関し、大変満足又は満足が49.5%、不満は0%であった。</p>
6	利用者の声	

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	<p>条例に定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。</p> <p>また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p>	S
II	施設の運営管理体制	<p>法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。</p> <p>また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も実施している。</p>	S
III	施設・設備の維持管理	<p>老朽化が進んでいる施設ではあるものの、保守点検や清掃等が適切に行われており、利用者が安全に安心して利用できる環境づくりに努めている。</p> <p>また、積極的に節電・節水を行うなど、省エネ対策が実行されており、環境に配慮した施設運営を行っている。</p>	S
IV	サービスの質の向上	<p>職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加や先進地における施設の見学等に積極的に取り組み、サービスへの反映に努めた。</p> <p>また、昨年度からの改善として、利用者への支援時にも支障がないよう、名札の代わりにシールを活用し、職員の氏名が分かるような工夫を行ったり、利用者に分かりやすいよう意見箱を出入口付近に設置した。</p>	S
V	施設固有の基準	<p>指定管理施設としての基準を遵守しながら、利用者の障害特性の細部までの把握に努め、処遇向上を図っている。</p> <p>また、個別支援計画に基づくサービスの提供について、利用者及び保護者との面談や、必要に応じてアセスメントの実施をしている。場合によっては、計画の見直しも行われるなど、利用者本位の支援に努めている。</p>	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		

### 四 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>「個別支援計画」を基に、利用者の意思決定を尊重した支援を行った。利用者の重度化が年々進み、職員の知識と技能が問われてきている中で、質の高いサービスの提供と高度な専門性を持った職員の育成を実現していくため、人材育成に重点的に取り組んだ。また、公の施設としての役割を認識し、地域福祉推進に向けた取組みとして、地域のボランティア団体や近隣小中学校等との交流を積極的に行い、利用者の社会参加の促進に努めた。さらに、各関係機関と情報交換等の連携を図り、利用者・保護者に障害福祉サービス等の情報提供をきめ細かに行なった。</p> <p>《重点目標のまとめ》</p> <p>1 個別支援計画に基づくサービス提供と質の向上          個別支援計画に基づく個々の障害特性に応じたサービスの質の向上を図るため、施設の内部研修、法人の内部研修及び外部研修に積極的に参加し、職員の専門性の向上に努めた。また、他施設との交流、近隣の地域清掃活動への参加や近隣小中学校やボランティア団体などの地域住民との交流を積極的に行い、地域に根差した施設作りに取り組んだ。</p> <p>2 利用者の課題に合わせた日中活動（個別・グループ）の充実          利用者のニーズに対し、きめ細やかに対応するため、障害特性を考慮し、創作活動に取り組む作業班、日常生活能力の向上に取り組む生活班、医療依存度が高く、主に看護師による機能訓練等に取り組む機能訓練班という3つのグループに分け、それぞれの班別の活動内容を充実させた。また、外出機会を増やし、社会参加につながる活動の充実にも取り組んだことにより、利用者の施設内外での活動意欲が増し、情緒の安定にも繋がった。</p> <p>3 医療的ケアが必要な利用者の支援体制の充実          医療的ケアを必要とする利用者に対し、看護師を中心とした支援体制を構築し、医療機関との連携強化に取り組み、支援内容の充実を図った。また、生活支援員のスキルアップを目的とした施設内研修を実施するなど、医療依存度の高い利用者へのより充実した支援体制の整備に努めた。</p> <p>4 施設運営委員会の設置          地域住民、学識経験者及び保護者による施設運営委員会を設置し、施設運営に関する幅広い意見をいただくことで、現状の課題や家族のニーズを客観的に把握することができた。それらの意見を基に、施設的环境整備を行うとともに、開かれた施設運営に努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>障害特性に配慮した利用者本位の支援を提供するため、主に看護師による機能訓練を実施したり、絵画等の創作活動や農作業、散歩及び社会体験学習など様々な活動を取り入れ、利用者が自己の障害の特性や性格にあわせて取り組めるよう働きかけるなど利用者の状態に合わせた支援が行われている。また、地域清掃、介護実習等を通じて、地域との交流や福祉人材の育成などの活動も勘案すると、総合的に高く評価できる。</p>	<p>S</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課